

# 民報城端

NO. 402  
2013年9月

日本共産党城端支部  
発行責任者  
松井俊一  
TEL 62-2451

## 小中学校に クーラー設置を 求める連絡会

# 田中市長に クーラー設置の要望書を提出

8月8日

## 1,162筆の署名を添え



南砺市の小中学校にクーラー設置を求める連絡会（代表大浦雅子・中川真由美）は、8月8日田中市長に住民から集めた1562筆の署名を添え、「小中学校にクーラー設置を求める要望書」を提出しました。

市議会では、不採択となりましたが、市長は平成26年度までは耐震化を最優先事業とし、耐震化100%になった時点で改めてその必要性について、学校や保護者の意見を参考に検討する」としていました。

連絡会では、改めて市民が小中学校の普通教室にクーラーの設置を望んでいることを伝えたいと、署名にとりくみました。会員の近所や知り合い、そして市内の旧4町のスーパーマーケットなどでも署名をお願いし、1162筆を集め提出しました。

市長は署名を受け取り、耐震化が確実に100%の目的が立った。クーラー設置を求める市民の感情も含め、2年前とは状況が違っています。



### 9月議会日程

- 9月 6日(金)AM10:00～  
本会議(提案理由説明)
- 9月 9日(月)AM9:00～  
決算特別委員会(1日目)
- 9月10日(火)AM9:00～  
決算特別委員会(2日目)
- 9月12日(木)AM10:00～  
一般質問(1日目)
- 9月13日(金)AM10:00～  
一般質問(2日目)
- 9月17日(火)PM1:30～  
産業建設常任委員会
- 9月18日(水)PM1:30～  
民生病院常任委員会
- 9月19日(木)PM1:30～  
総務文教常任委員会
- 9月25日(水)PM3:30～  
本会議(討論・採決)



きている。前向きに検討したい旨の発言がありました。

県内では、今年度1市(滑川)2町(上市・立山)1村(舟橋)で全小中学校に、1市(小矢部)で全中学校に設置されます。

子どもたちが父母の声に答え、普通教室にもクーラーを設置し、学びやすい環境を整えたいものです。

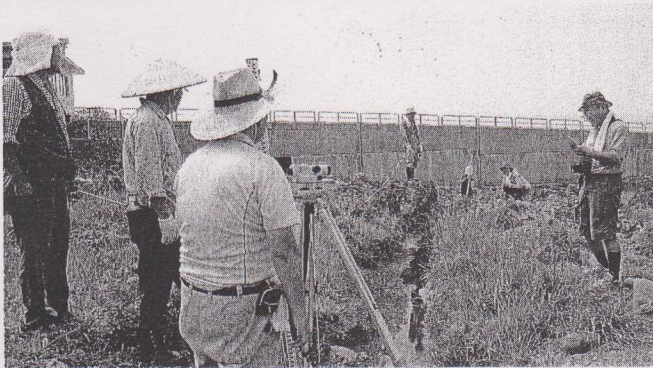
## 袴 腰

1979年に女性差別撤廃条約が国連で採択。形式的な法的な平等待遇の義務だけでなく、結果の平等・実質的な平等が必要と

▼「暫定的特別措置」は事実上の平等を実現するために取る措置で、実現したらいらなくなる。もう一つは、母性を保護するために取る措置で、恒久的性格の措置だ▼1999年の「男女共同参画社会基本法」は、国、都道府県、市町村に「男女共同基本計画」の制定を義務つけた▼改憲策動の中心にいる「靖国」派勢力は、2007年「美しい日本をつくる会」を発足し、「家庭を壊す男女共同参画基本法」の廃棄の署名運動を呼びかけた。戦前、すべての国民を天皇中心の国家体制に動員する仕組みとした古い「家」制度を否定した、現憲法24条の理念と立場を根底から否定するものだ。

2013年7月28日(日曜日)

日刊「しんぶん赤旗」



志賀原発周辺の海岸を測量し、地形を分析する4団体の人たち=27日、石川県志賀町

日本科学者会議石川支部、原発問題住民連動石川県連絡センターなど4団体は26、27の両日、北陸電力志賀原子力発電所(志賀町)周辺の海岸部の測量調査を実施しました。新潟大学名誉教授(地質学)の立石雅昭氏の指導のもと、海岸地形の状況を確認し、原発周辺の断層の活動性を分析しました。

4団体と立石氏は、昨年春以降回数にわたる「富来(とぎ)川南岸断層」や原発の東1号地点の「福浦断層」を調査し、両断層が活動性の高い断層であることが決定的になったとする調査結果を発表しています。

今回は、志賀原発の敷地直下を走る断層と海岸部の断層の向きが類似していることから、海岸の線状の構造や断層の状況を調査し、原発周辺の断層の状況を推測。その上で北陸電力が否定している断層、無視している断層についても存在を立証することが目的です。

調査では、活動年代

# 志賀原発周辺に断層多数 科学者会議など4団体調査

の特定は困難なものの、過去に地震が発生したことを示す断層の

破砕帯が幅広く見られるなど、断層が志賀原発の海岸側に多数存在することがわかり、原発直下をはじめ、原発の周囲に数多くの断層が存在することが明白になりました。

立石教授は「海岸部に幅広い破砕帯を伴った断層が多数存在する状況を見て、原発敷地直下も同様の状況だと推測される。しっかりと調査を実施し、結果を明らかにすべき」と指摘。住民運動としても継続して調査を行う考えを述べました。

4団体は28日も同様の調査を実施することとしています。



図2-8 志賀原発と富来川南岸断層  
出典:「福井新聞」, 2012年5月4日を簡略化し、改変

平成22年夏の平均気温は、気象庁が統計を開始した明治31年以来最も高くなりました。今年も「負けず劣らず」です。

文部科学省は23年クーラーの設置要件を撤廃し、工事費の下限額で400万円以上を対象に3分の1の国庫補助を行うこととしました。

南砺市における小中学校の普通教室は、170教室

室程です。1教室75万円と仮定すれば、1億3000万円となり、市の持ち出しは8600万円程となります。一度に全ての教室とならなければ、中学校、そして小学校と計画的に設置することも考えられます。

署名をお願いするなかで、「まだクーラーが無かったのか」と驚かれる人も多くありました。クーラーの設置を切望します。



### クーラー設置の取り組みの経過

- H23年
- 1月 H23年度予算要求
  - 4月 教育委員会に調査依頼
  - 6月 「小中学校にクーラー設置を求める連絡会」発足
  - 8月 市議会議長に請願書提出  
6中学校・4小学校PTA会長の賛同署名
  - 9月 市長に請願書提出  
5中学校・4小学校PTA会長の賛同署名  
市議会は、請願不採択
- H24年
- 1月 H24年度予算要求
  - 10月 「教育委員会事務の点検・評価報告書」学識経験者・エアコン設置の検討を指摘
  - 12月 市議会一般質問で取り上げ
- H25年
- 1月 H25年度予算要求
  - 4月 「クーラー設置を求める連絡会」再開  
住民署名を取り組むことを確認
  - 5月～ 署名取り組み
  - 8月 市長に署名(1,162筆)を添え要望

